

令和元年度 第1回横手市地域公共交通活性化協議会 会議録（概要）

日 時 令和元年6月27日（木） 13：30～14：50

場 所 横手市役所本庁舎 2階 第一会議室

出席者 19名（随行者4名）

欠席者 3名

事務局 4名

○開 会

事務局 これより第1回横手市地域公共交通活性化協議会を開会する。

○会長あいさつ

人事異動等により若干の委員の変更はあったが、向こう一年よろしくお願ひする。

本日の協議会は定例的なものとなっており、事業報告の他、昨年度決算、今年度予算、生活交通確保維持改善計画、有償運送更新という内容であり、よろしくお願ひしたい。

昨年度は委員の皆様には当市の網形成計画の策定にご協力いただいた。網形成計画には4つの基本方針を掲げているが、その中でも交通不便エリアの解消が喫緊の課題と認識している。どういう形が適切なのかを含めて協議会の中で検討を重ね、議論してまいりたいと考えている。

本日も忌憚のないご意見を出していただきたく、よろしくご審議のほどお願ひする。

○報告

平成30年度デマンド交通・循環バス・公共交通利用回数券の実績について
（事務局から報告①に基づき説明）

事務局 ただいまの説明に対し、ご質問、ご意見等があれば、お願ひしたい。

伊藤委員 デマンド交通の利用者については、毎月の利用人数等に変化が少ないが、これは同じような方々が利用していると考えていいのか。

事務局 新規の利用者よりも、定期的にご利用されている方が多いと伺っている。デマンド交通事業者のご協力のもと、安定した利用人数となっている。

○議事

議案第1号 平成30年度横手市地域公共交通活性化協議会決算について
(事務局から資料1に基づき説明)

会長 ただいまの事務局の説明に対し、ご質問、ご意見等をお願いしたい。

宇佐美委員 デマンド交通では昨年10月から事業者が費用の1割を負担しているが、その数字が決算書に記載されていないのはどうしてか。

事務局 デマンド交通事業者からは、あらかじめメーター料金の9割の金額を基準に請求していただいているため、決算書に記載されていない。

会長 他にないようであるので、議案第1号 平成30年度横手市地域公共交通活性化協議会決算について、承認することとしたい。

○議事

議案第2号 令和元年度横手市地域公共交通活性化協議会予算(案)について
(事務局から資料2に基づき説明)

会長 ただいまの事務局の説明に対し、ご質問、ご意見等をお願いしたい。

長澤委員代理 昨年度、横手市の他には男鹿市と能代市で網形成計画を策定しているが、両市ではコンサルティング業者に委託して、計画を策定したのに対し、横手市は独自で策定した分、予算の繰越が多くなったと考えられる。

井上委員代理 高齢者の免許返納について、運転免許の更新の際に、高齢者に公共交通の免許返納者に対する特典のチラシ等を配布するなど、警察署と協力して実施できないか。

事務局 現在も運転免許を返納された方に対して、警察署から公共交通利用回数券の申請書やチラシを手渡ししてもらうなど、連携して事業を実施している。今後、公共交通の利用促進のチラシの配布なども検討してまいりたい。

会長 他にないようであるので、議案第2号 令和元年度横手市地域公共交通活性化協議会予算(案)について、承認することとしたい。

○議事

議案第3号 令和2年度横手市生活交通確保維持改善計画(案)について
(事務局から資料3に基づき説明)

- 会長 ただいまの事務局の説明に対し、ご質問、ご意見等をお願いしたい。
- 宇佐美委員 P3のデマンド交通の目標値について、人口減少が予測される中で、なぜ年間利用者数の目標値を増加としているのか。
- 事務局 昨年度策定した網形成計画の考え方に準拠した目標値で設定している。
- 宇佐美委員 先日公表された「高齢社会白書」では、高齢者のひきもこりが増加していることが指摘されていたが、そのような状況も踏まえた目標値としなければならぬのではないか。
- 事務局 昨年度も網形成計画を策定する中で目標値に関する議論があった際には、最初に事務局で高めの目標値を設定していたが、議論の中でより現実的な目標値を設定することとなったので、その点をご理解いただきたい。
- 加賀谷委員 P4のスクールバスの活用について、交通不便エリアで運行する、日中の空き時間を活用するなど、現時点で具体的な考えはあるのか。
- 事務局 先日、教育委員会と打ち合わせを実施したが、詳細は今後詰めていきたい。スクールバスは児童の登下校の時間帯の他、日中は学校活動に使用されている状況にあるため、課題を整理しながら、主に空き時間での運行ができないか、検討してまいりたい。
- 井上委員代理 大前提として、交通不便エリアで実施するのか、有料か無料かについても決定していないのか。
- 事務局 そのような部分も含め、今後検討していく必要があると考えている。
- 宇佐美委員 スクールバスの状況について学校に聞いてみると、年間ほとんど使用しており、空き時間はほとんどないとのことだった。公共交通として使用した場合に、スクールバスの耐用年数を考えると、維持・管理にも影響が出るのではないか。

事務局 現在、当市では52台のスクールバスを所有しているが、日中は学校活動にも使用されているものの、毎日全てが使用されているわけではないため、空き時間の利用について、検討の余地はあると考えている。
また、スクールバスは学校統合の時期にあわせて更新している面もあり、対象となるエリアのスクールバスの状況については、市全体の運行状況とあわせて検討していく必要があると考えている。

井上委員代理 スクールバスの活用を進める際は、バス・タクシー事業者と協議しながら進めていただきたい。また、運転手の高齢化も進んでいる状況にあるため運転手の確保にご配慮いただきたい。

事務局 バス・タクシー事業者とも協議しながら、検討させていただきたい。

会長 他にないようであるので、議案第3号 令和2年度横手市生活交通確保維持改善計画(案)について、承認することとしたい。

○議事

議案第4号 自家用有償旅客運送の登録有効期間の更新について
(事務局から資料4に基づき説明)

会長 ただいまの事務局の説明に対し、ご質問、ご意見等をお願いしたい。

井上委員代理 有償旅客運送に係る事業費はどのくらいだったのか。

事務局 平成30年度の市負担額は約300万円で市の一般会計から支出している。内容としては、共助組織への委託料、燃料費、保険代などとなっている。

高橋彰委員 毎週4人で分担して運転しているが、利用者の安全を預かっているので、緊張感を持って取り組んでいる。運転手も年齢を重ねてきており、運転手の確保が一番の課題と感じている。今後も運行を継続していくので、よろしく願います。

会長 他にないようであるので、議案第4号 自家用有償旅客運送の登録有効期間の更新について、承認することとしたい。

○その他

高橋俊貴委員 秋田県警では、交通死亡事故抑止対策として、反射材の着用促進を掲げているが、夜にデマンド交通から降車される利用者へ反射材を配布していただくことはできないか。

事務局 対応を検討させていただきたい。

宇佐美委員 高齢者の総合事業の一環として、大型小売店で反射材を配布したところ、あつという間になくなったことがあった。
免許返納について、地域包括支援センターでは公共交通利用回数券のことしか知らず、運転経歴証明書については理解していなかったため、もっと庁内で周知を図っていただけないか。
デマンド交通について、老人クラブの集まりで利用しない理由を聞いたところ、行きたいときに行きたい場所に行けることが利用者の希望とのことだった。ニーズに対応しきれていないため、利用者が伸び悩んだと考えられることから、もっと内容を見直した方がいいのではないかと。

事務局 免許返納対策については、庁内の情報共有を徹底してまいりたい。
デマンド交通の利用に関する説明会を随時開催してきたが、制度の内容についても引き続き検討してまいりたい。

高橋和樹委員 代理 例えば、宇佐美委員は免許返納しなければならない状況となったときに、どのような対応をされたら納得されるのか。
また、どうすればデマンド交通が使いやすくなるかと考えているのか。

宇佐美委員 現在運転されている方は、免許を一生持っていたいという考えがあるので、免許返納は運転者の意識による部分がある。全国で統一された返納基準があれば、諦めがつくと考えられる。共通のものさしを準備するべきではないかと。

高橋和樹委員 代理 統一基準を行政で作るのは違うかもしれないが、協議会の中で議論したらいいのではないかと。